

# 当面の技術対策（畜産編）

令和4年9月1日

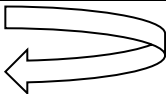
発行：ゆとりみらい2 1 農業推進協議会指導部会

## 1. サイレージ用とうもろこしの登熟状況

本年のサイレージ用とうもろこしは8月25日（平年8月28日）に乳熟期を迎えました。本年は気温が高く推移しておりますが、**高い積算気温の割に、登熟が進んでいない傾向にあります。**ほ場を観察し、登熟具合の確認を行い、収穫時期を判断しましょう。合わせて収穫機械の調整や整備、バンカーサイロやスタック堆積場の整備を早めに行い、いつでも収穫作業が行えるように備えておきましょう。

また、本年のサイレージ用とうもろこし収量調査は**9月13日**に行う予定です。

表1 本年の登熟状況

		乳熟期	
本年	8月25日		3日早い
平年	8月28日		

## 2. 2番草収穫後のギンギン類の駆除

ギンギンの葉が手のひらくらいの大きさに展開し、草丈15cm～20cmに生長した頃が除草剤散布の目安となります。農薬の使用基準（表2）を参考にギンギン類の駆除を行いましょう。また、駆除後に裸地を放置すると新たな雑草侵入の危険性が高まります。駆除後の追播を検討しましょう。

表2 農薬の使用基準

薬剤名	使用時期		10a 当たり使用量	使用回数	注意事項
アーヅラン液剤	新播草地	ギンギン類（本葉3～4葉期）	200～300ml	1	・秋期散布は最終採草後に行い、散布後の14日間は放牧を行わない ・採草直後の散布は避ける ・夏期及び秋期播種の草地への散布は避ける
	経年草地	最終採草後	経年秋処理 300～400ml	1	・採草・放牧直後の散布は避ける。散布後の14日間は放牧・採草は行わない ・高温時または降雨前の散布は避ける ・ハーモニー75DF 水和剤との重複散布は避ける
ハーモニー75DF 水和剤	新播草地	夏は種草地の定着後（採草21日前まで）	0.5～1g	1	・アルファルファ経年草地及びイネ科混播草地に限る ・クローバーに対する薬害が著しい ・処理当該番草の刈り取り及び放牧は散布後21日間は行わない ・散布後の飛散や流出によって有用植物に薬害が生ずることのないよう十分注意して散布する ・使用後のタンク等の洗浄は他の作物に対する薬害の原因にならないよう必ず専用の洗浄剤で良く洗浄して下さい
	経年草地	夏及び秋処理（採草21日前まで）	3g	1	